



令和7年度 大賀茂小学校グランドデザイン

【教育行政の基本方針】

<静岡県>

1「文・武・芸」三道の鼎立を目指す教育の実現

2未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現

3社会総がかりで取り組む教育の実現

<下田市>

教育の理念：「下田に誇りを持ち、未来を切り拓く志をもった人」

教育目標：「未来に向かってたくましく、しなやかに生きる子を育む」

学校教育目標

自律し、自立できる子

重点目標

チャレンジしよう！

<合い言葉>

お：オリジナルを表現する子

あ：お友達と気持ちよく関わり合う子

が：がんばる力を身に付ける子

も：もっとよくなるために考え、工夫する子

【児童の実態】

- ・優しく素直、穏やかで接し方が温かい児童が多い。
- ・仕事や学習に前向きに取組み、役割を忠実に果たそうと努力する。
- ・異学年間の交流が活発で、協力し活動する。

【保護者・地域の実態】

- ・保護者や地域が教育活動に対して理解があり、協力的である。
- ・地域の中の学校という意識があり学校に対する温かさがある。
- ・学校と地域との結びつきが強く、稲作活動など地域と密着した体験活動を行うことができる。

目指す子供像

- ・主体的に学び表現する子
- ・自ら考え行動し、異なる視点を大切にし、協働する子
- ・めあてに向かって、試行錯誤しながら挑戦する子

願う学校像

- ・学ぶ楽しさに満ちた学校
- ・やりがいと達成感が味わえる学校
- ・大賀茂小の児童であることを誇りに思う学校
- ・保護者・地域から信頼される学校

求める教師像

- ・人権意識の高い教師
- ・教育的愛情と使命感を持つ教師
- ・広く豊かで多様な教養や価値観を身に付けた教師
- ・職員、保護者、地域と協力し合う教師

主体的に学び関わり合い、表現する子

①一人一人を大切に授業

- ・学び手の視点で授業をつくる
- ・思考の流れに沿った単元構想
- ・主体的に学ぶための学習課題

②校内研修の充実

- ・子供の思いから生まれる問い
- ・思考の活性化を意識した意図的な関わり

・広げ、次へつなげるふり返り

③生活科・総合的な学習の時間の充実

- ・地域の人・もの・ことを活かした単元
- ・体験的な活動の重視
- ・教科横断的な学習を意識

④基礎的な学習を身に付ける

- ・朝学習、放課後勉強クラブ、家庭学習の習慣などによる学習の積み重ね
- ・読書指導の充実
- ・音読会の実施

主体性 考える力
表現する力 工夫する力

自ら考え行動し、異なる視点を大切に、協働する子

①縦割り活動、異学年交流の充実

- ・認め励まし合う経験の蓄積
- ・自己有用感の醸成による自己肯定感の高揚

・生活の充実向上のために、主体的に創意工夫して取り組む委員会

②地域と連携することによる地域活動参加による社会性の育成

- ・地域の人材を生かした体験学習
- ・グローバルCITYプロジェクトの有効活用

③安全指導の充実と判断力の熟成

- ・集団下校の活用
- ・自ら考え判断する安全指導の実施
- ・計画的な避難訓練の実施
- ・駐在所との連携による見守り

多様性 協働する力
異なる視点を生かす力

めあてに向かって、試行錯誤しながら挑戦する子

①めあてを明確にし、試行錯誤する中で自らを振り返り、挑戦する場の設定

- ・身に付けるべき資質能力の明確化と共有
- ・挑戦する過程を重視し意欲を高める支援
- ・試行錯誤する過程を重視する

②進んで運動し、共に高めあい、達成感や満足感を味わう雰囲気作り

- ・朝の運動・体育的行事
- ・意欲やがんばりが目に見える掲示やカード等の工夫

③健康や成長について理解し、考える機会の設定

- ・養護教諭の授業参加
- ・測定時のミニ講話等
- ・欠席ゼロ100日以上目標設定

あきらめない力
チャレンジする力

○ **肯定的な子供観**に基づいた教育

○ 子供一人一人が**所属感**を持ち、**多様性**や**互いの良さ**を認めあえる学級・学校作り

○ **特別支援教育の視点**に立った支援、環境整備（SC、SSW、外部機関との連携）

○ **5ステージによる小ステップの目標設定**

五ステージ制

出会い	めあてに向かって	みんなで	最後まで	感謝
→運動会に向けて ・自分のことを話そう ・協力してがんばろう	→新しい発見！ ・反応しながら聴こう ・1ランクアップを目指そう（個）	→力を合わせて ・考えながら聴こう ・みんなで高めよう（集団）	→やりぬくガッツ ・自分の考えが伝わるように表現して伝えよう ・最後までやりぬこう	→見つめ直そう ・自分と友達の考えを比べながら聴き伝え合おう ・次のステージに向けて見つめ直そう
I 期	II 期	III 期	IV 期	V 期

評価・検証（よりよい教育活動に向けた振り返りと行動）

○学校評価（児童・保護者・教職員アンケート）→学校評価会議→学校評議員会→情報発信

家庭との連携・協働

- 基本的な生活習慣
- 自己肯定感の育成
- 学習カードを活用した学習習慣の定着
- 家族としての役割意識・規範意識の熟成
- 家庭読書の充実・強化
- PTA活動等での縦と横のつながりの強化

地域との連携・協働

- 学校運営協議会を活かした地域人材の活用（ゲストティーチャー、どんぐりの詩）
- 大賀茂区、地域と連携した安全、防災教育の強化（地域防災訓練への参加・防災情報共有・吉佐美駐在所との連携）
- 外部諸機関（行政・福祉・児相）との連携
- 朝日地区育成会との連携

キーワードは、
「チャレンジ」と「主体性」